

八王子 水のまちニュース

第7号
平成28年2月

八王子市水循環部
水環境整備課
042-620-7291(直通)

第5回あさかわ写真コンクール

入選作品が決定しました

八王子市・日野市連携事業

二つの市を流れる「浅川」を被写体として毎年募集しており、5回目となる今回は、今までで最多となる432点のご応募をいただきました。一次審査を経た96点について展示投票を行い、その結果に基づき30点の入選作品が決定。両市市長および協賛企業より賞状・副賞が授与されました。



一般の部 最優秀賞
「探餌」小山田稔さん



中学生以下の部 最優秀賞
「輝く『あさ』」中島真秀さん



表彰式の様子(日野市:多摩平の森ふれあい館)



今年も、「第6回あさかわ写真コンクール」の作品を募集します(4月1日より受付開始)。「浅川」の魅力あふれる作品のご応募をお待ちしております。

～チョウゲンボウ(長元坊)～

ハヤブサ科に属し、大きさはハトくらいの小型の猛禽類です。上空での素早い動きは苦手ですが、



よく河原の上空に停飛

(ホバリング)して獲物を探し、急降下してネズミ、小鳥、虫などを捕らえます。

昔は崖に営巣したのですが、小型なのが幸いしたのか、天敵の少ない、街中のビルや橋のすき間に巣を作ることが増えました。

市街地に近い浅川でも観察することのできる猛禽類のひとつです。

水辺の生きもの



百年の彩りを 次の100年の輝きへ

湧水めぐり

10月17日（土）に開催しました

中野山王から明神町の湧水をめぐる



子安神社（中野山王）の湧水池

多摩美術大学名誉教授・渡部^{わたべかずし}一二先生の解説を受けながら市内の「湧水」ポイントをめぐるイベントが、春の「片倉城跡公園～六本杉公園」に続いて開催されました。

市民の皆さんの関心も高く、多数のご応募をいただき、抽選により決定した参加者の皆さんが子安神社（中野山王）に集合しました。

朝はあいにくの雨模様でしたが、豊富な水量を誇る、境内の湧水見学からスタート。

中野山王や暁町を流れる水路や、今も残る洗い場をたどりながら、名綱神社、小宮公園（大谷弁天池）などの湧水点を見学。中でも、名綱神社はひっそりとした佇まいで、参加者の皆さんも静かな雰囲気を楽しんでいました。

小宮公園を出るところには雨もあがり、浅川大橋、竹の花公園（一里塚）、市守大鳥神社を経て、子安神社（明神町）に到着。境内に大きく水を湛える湧水池を鑑賞しました。



子安神社（明神町）の湧水池



小宮公園から切通しを進みます

その後、隣の船森公園にて解散。心配だった天候も後半には回復し、予定していたルートですべてたどることができました。

これから少しずつ暖かくなり、散策に絶好の季節が近づいています。皆さんも水辺に出かけて、身近な自然を感じてみませんか。

水路に雪を捨てないで



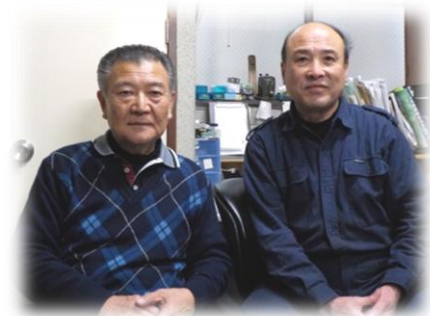
冬のこの時期は、積雪に見舞われることもありますが、水路に雪を捨てると、固まった雪が水流を阻害し、水があふれることがあります。また、小石や砂も雪と一緒に水路に入り込んで堆積してしまいます。子供たちが雪で遊んで水路に落ちるなどの危険もありますので、雪は水路に捨てないよう、ご協力をお願いします。

まちの話題

みまも

「水辺の水護り制度」に登録し、大横町で水辺の保全活動をされている「大横町町会」の山田さん・滝本さんにお話を伺いました。

私たちは幼少の頃から大横町で過ごし、浅川と共に育ってきました。私たちが子供の頃の浅川は、今よりも水量が多く、よく飛び込みをして遊んだものです。また、石積みの中には暖かさを求めてウナギが集まってくるので、そこを狙って手で掴まえては食べたりと、自然豊かな遊び場として慣れ親しんでいました。



滝本さん 山田さん

その後、都市化が進むにつれて、未処理の産業排水や生活排水により、川の水が一時汚くなってしまった時期もありましたが、今は下水道や河川の整備が進み、回復しています。護岸改修なども行われ、昔とはまた違ったきれいさがあるように感じます。



ボランティア袋もいっぱいです

しかし、河川敷にゴミを捨てる人が少なからずいるのも現状です。そこで私たちは、定期的に浅川の清掃活動や草刈りを行っています。草が伸びきっていると、その茂みにゴミを捨てられてしまうことが多いので、清掃活動だけでなく草刈りも重要となります。

大横町町会は、年々人口が減少しており、町会役員も交代制になっています。こうした中で、「メンバーが変わっても、変わらずに何か1つのことを続けていきたい」という思いから、水辺の水護り制度に登録しました。

河川敷清掃をした後は、花見や芋煮会などを行っており、地域住民の集まる良いきっかけになっていると感じます。これからも、自分たちの住む町を流れる河川を自分たちの手できれいに保ち、町の交流の場として、浅川を皆が親しむことのできる場所にしていきたいと思っています。



大横町町会の皆様

**大横町町会さんは、作業後に毎回、パソコンで作られた報告書を提出して下さいます！
皆様の熱心な活動の様子を写真で拝見できるので、いつも楽しみにしています！**

八王子浅川水辺の楽校から

野鳥観察を実施しています

八王子浅川水辺の楽校では、市内の小学4年生を対象に、野鳥観察を浅川河川敷で1月～3月に実施しています。5年目を迎えた今年も、八王子・日野カワセミ会の方々を講師にお迎えし、野鳥の説明や観察の指導をしていただきます。

昨年はダイサギ、カワセミ、チョウゲンボウ等、20種を超える野鳥を観察しました。子ども達からは「カワセミを初めて見た!」といった声も聞こえ、楽しみながら観察をするとともに、浅川の自然を実感してくれたことと思います。

冬は木々の葉が落ち景色が寂しくなりますが、葉の落ちた木は止まる野鳥がよく見えるため、野鳥観察には絶好の季節になります。今年は、どんな野鳥が私たちの前に姿を見せてくれるのか楽しみです。



河川清掃も行っています

野鳥観察と並行して河川清掃を行います。昨年は、たばこの吸い殻から車のバッテリーまで多くのゴミが散乱しており、30分で45Lのゴミ袋10袋分のゴミを拾いました。小さなゴミから大きなゴミまで、数多く捨てられている現状に、子ども達も驚きを隠せない様子でした。



浅川はカワセミが見られる等、豊かな自然が残されていますが、その一方でゴミが散見されるのが現状です。浅川の豊かな自然を残していくためにも、水辺の楽校では、これからも子ども達の自然を大切にする心を育むための活動を行っていきます。そして、河川敷で拾うゴミが年々減っていくことを願っています。

(水再生課)

～編集だより～

12月11日、全国各地で冬としては記録的な豪雨がありました。市内でも、水路や排水溝に落ち葉がたまっていたために、雨水があふれるなどの通報が相次ぎ、冬は雨が少ないからと油断してはいけなことを痛感した一日でした。皆さんのお宅では、雨どいに落ち葉がたまっていないでしょうか?高い場所なので、確認や清掃は、安全に十分気をつけて行ってください。

